

議 事 録

| | | | |
|-----------------|---|-------------------------|--|
| 会議名 | 第1回寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議 | | |
| 開催日時 | 平成30年7月31日（火曜日）15：00～17：00 | | |
| 開催場所 | 寒川町役場 東分庁舎2階 第3会議室 | | |
| 出席者名、欠席者名及び傍聴者数 | <p>出席委員：三澤委員（委員長）、中間委員（副委員長） 椎野委員、小黒委員、安藤委員、森委員 佐藤（敬）委員、中澤委員（8名）</p> <p>欠 席：佐藤（い）委員</p> <p>事務局：鈴木福祉部参事兼高齢介護課長 仲手川副主幹、佐野副主幹 前田主任主事、後藤主任主事 柏木主任主事</p> <p>社会福祉協議会：稲葉生活支援コーディネーター 浅野生活支援コーディネーター</p> <p>傍聴者数：なし</p> | | |
| 議 題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議について 2. 生活援助型の介護予防訪問型サービスについて 3. 生活支援コーディネーター活動報告 4. 介護予防事業実施報告 5. 今後の予定について | | |
| 決定事項 | 次回の会議までに、町内の訪問介護事業者、シルバー人材センター、社会福祉協議会に対して提案・ヒアリングを実施。A型サービスの実施について、選択肢となる素案を作成する。 | | |
| 公開又は非公開の別 | 公開 | 非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む） | |
| 議事の経過 | <p><議事前段の進行></p> <p>○委嘱状交付 森委員（社会福祉協議会より選出）</p> <p>○あいさつ</p> <p><ここから議事></p> | | |

**議題1 寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議
について**

事務局：【資料1を用いて説明。今回は平成30年度初回の会議なので、会議の目的と平成30度の議題を確認】

三澤委員長：事務局より説明があったが、疑問点や質問などはないか。

森委員：この会議は年、何回くらい行うのか。

事務局：進捗状況にもよるが、2～3回程度を考えている。

森委員：推進会議の目的は、基盤整備の推進ということだが、基本的には、高齢者が地域で暮らしていくための環境づくりということでもいいのか。

事務局：そのとおりです。

森委員：いわゆる介護保険サービス事業の方向性について、本会議で協議していくことだと認識した。

委員長：その中でも、生活支援と介護予防の部分となる。

事務局：補足だが、介護保険サービスだけではなく、その他インフォーマルなサービスについても検討いただき、基盤を整備していくのが目的。

森委員：了解した。

議題2 生活援助型の介護予防訪問型サービスについて

事務局：資料2、3から、生活援助型の介護予防訪問型サービスを平成33年度（第8次計画期間）から開始するために、本会議で訪問型サービスAの委託と指定、どちらの類型が寒川町に適しているかを協議する旨を説明。

稲葉 C o : 資料 4 から、近隣市町の訪問型サービス A の実施状況について説明

三澤委員長：事務局より説明があったが、意見などはないか。

椎野委員：生活支援コーディネーターから、近隣市町の訪問型サービス A の単位数についても紹介があったが、これは地域加算のような考え方があって、この単位数になっているのか。

稲葉 C o : 地域によってではなく、保険者ごとに独自に判断して定めている。国からは現行の 7 割～9 割で設定しなさいとの文書が出ているので、それに基づいて保険者が定めているのが先ほど紹介した単価になる。

三澤委員長：この単価からも、行政の考え方、地域差が感じ取れると思う。

森委員：開始したが、1 日数件しか利用がなく、利益にならないという市町があるとも聞いている。現在、A 型を実施している市町は指定制が多いようだが、この指定というのは市町が指定するというだけでいいのか。

稲葉 C o : そのとおりです。市町が指定を行います。

森委員：ちなみに、寒川町では訪問介護を行っている事業所はどれくらいあるのか。

事務局：住宅型有料老人ホーム併設の事業所等を省いて考えれば、一般の家庭に訪問してサービスを行っているのは、4 事業所となる。

三澤委員長：それらの事業所でも、訪問介護員を確保することが難しいという話はある。これで A 型の指定を開始して、指定をとったら、さらに人手不足に不安を抱えるので、指定申請を行わない事業所はあると思う。

三澤委員長：そういったことから、シルバー人材センターで委託を受ける、といったことはどうだろうか。

安藤委員：シルバーも今いる会員はそれぞれ作業に手一杯で、私が見た感じでは、難しいとも思う。

三澤委員長：調査をしていただいた生活支援コーディネーターは、寒川町の現状についてどう考えるか。

稲葉C o：平成29年度から総合事業が開始して、とりあえず指定制度をつくった近隣市町が多いのではないだろうか、と感じる。寒川町において、よくよく考えれば、個人的には委託の方がやや適しているような感じもするが、あとは町ではどれくらいの利用件数が考えられるのか、ということも調べる必要があると思う。

三澤委員長：本日、結論の出る議題でもないと思う。結論に向けての土台づくりということで、皆様ご意見いただければと思う。他市町の実施状況は継続して調べてもらおうとして、次までに調べてもらうことなどについても、意見があれば。

三澤委員長：社会福祉協議会などは、以前、ヘルパー事業を実施していたかと思うが、どうだろうか。

森委員：以前やっていたものが、そのまま続いていけば、それもあったかもしれない。委託で実施することについて異論はないが、人材確保がやはり課題。シルバー人材センターも同様だと思う。募集しても従業員が来ないのであれば仕方ない。

三澤委員長：シルバー人材センターも募集に人は来ないのか。

安藤委員：そうです。

三澤委員長：団塊の世代などが、手を挙げてこないのか。

安藤委員：そのようなことはない。

稲葉 C o : A型委託は、人材確保が課題ということであれば、その点について何がしかの支援を考えていく、ということだろうか。他市町では、その人材確保部分の支援事例などを調べてみたい。

三澤委員長：昨日、県の介護人材確保の会議に出席したが、そこでは、人材確保の裾野を広げることが重要、という話になっていた。今は、有資格者でも他業種に移って行ってしまいう時代、行政や社会福祉協議会が協力し、身近な人材を確保していくような事業が必要ではないか。介護保険制度の開始に際しては、ホームヘルパー 2 級の資格を取得するのに、行政の支援があった。当時、町の訪問介護事業所はそれにより、コアとなる人材を確保して運営をしていたように思う。専門学校等で有資格をとると個人の費用負担も大きいですが、今回のような町が認定するようなものについては、幅広く教室をやってもらいたい。

事務局：A型の従業者として、雇用されるにあたりは、教室というよりも研修という形で実施は行う予定。幅広い人材を確保して、サービスに従事していただけるようにしたい。

人材確保についての支援があれば、シルバー人材センターなり社会福祉協議会なりで、委託を受けていただける可能性もあるのか。

森委員：即答はしかねる。

椎野委員：求人募集ということであれば、当施設においては70歳前後の男性の方から、介護の仕事で就労したいという電話をいただく事がある。その年齢で初めての介護業界ということだと、難しい点もあり、お断りをさせていただくことがあるのだが、その際、シルバー人材センターさんやボランティアセンターさんを紹介させていただくと、相手方は「一度は登録したことがあるが、毎日就労ができない。私は毎日働きたい」という話を伺うこともある。そういったことから考えれば、このA型なりで就労を希望する方は存在していると感じる。なので、介護予防事業や社会福祉協議会の事業などで集まった人に対

してPRしていくなどすれば、働き手が見つかっていくのではないか。

三澤委員長：体が健康なうちは就労していただく、というのは良いことだと思う。寒川町において、町の内部で働き口、働き手を創出することは5万弱の人口を維持することにもつながるのではないか。

稲葉C o：確認となるが、寒川のシルバー人材センターさんは、一般のご家庭の中に入っているサービスの提供は、現在、実施されていないということによろしいか。

安藤委員：その通りです。草むしりなどは行っているが、その程度となる。あとは、買い物などは出来るのではないか。

稲葉C o：ここで結論というのは難しいと思う。今後は、まず、訪問介護事業所、シルバー人材センター、社会福祉協議会に訪問A型の実施について、個別に提案・ヒアリングを行っていきたいと思う。

三澤委員長：寒川町として、どのような手法がとれるかについて、ある程度練ったものを次回会議ではご提示していただければと思う。

議題3 生活支援コーディネーター活動報告

稲葉C o：参考資料1、2から、生活支援コーディネーター配置事業の平成29年度実績及び平成30年度実施予定について説明。

三澤委員長：かつて、介護保険制度が始まったときは、ケアマネジャーという単語がここまで、一般に広がるとは思っていなかった。生活支援コーディネーターも同じことと思う。どんどん活動を行っていただき、稲葉さん、浅野さんがコーディネーターだということを知ってもらいたい。

森委員：生活支援コーディネーターの活動についてだが、地元の人にわかりやすい活動をしてもらうことが必要かと思う。その活動内容が見えるような形を作っていきたい。

三澤委員長：今は何かあれば地域包括支援センターに相談がいくと思う。佐藤委員、どうか。

佐藤委員：PRもさせていただいているので、地域包括支援センターに問い合わせれば情報があるということで、お問い合わせはいただいている。

また、今回の議題はA型であるので、家事援助ということがメインとなっているが、見守りなどのレベルのサービスでも、助かるところはあるのでは、と感じるところはある。

三澤委員長：介護の認定が有れば、介護支援事業所なり地域包括支援センターが調整をしていただければと思う。それ以前の部分について、生活支援コーディネーターが担っていただくことは出来るのか。

稲葉C o：地域包括支援センターはサービスの創出を仕事とはしていない、その部分については生活支援コーディネーターの仕事となる。しかし、実際にサービスを使用される人に対しての対応、例えばゴミ出しはどうでしょうか、などについては、地域包括支援センターになろうかと思う。

森委員：生活支援コーディネーターは、地域に働きかけを行うことで、地域の方にご協力いただいて安否の確認体制等、生活支援の体制を構築することが仕事と考えていた。そういう地域での根っこのようなものを構築する必要があると思う。他市においては、ごみの戸別収集についての協力体制を構築しつつある例もあると聞く。

事務局：生活支援コーディネーターの仕事は、関係機関とサービス等のコーディネート、直接町民の方への調整については範疇の外になるのでご留意いただければと思う。

稲葉 C o : 皆様からのご意見を参考にし、今後の活動を行っていききたい。

議題4 介護予防事業実施報告

事務局：資料5より、平成29年度及び平成30年度の介護予防事業実績について報告。

三澤委員長：この、シニアげんきポイント事業についてだが、これは1日2回スタンプを押印されている人もいるのか。

事務局：その通りです。

三澤委員長：よい取り組みである。今後も協力いただける事業所が増えるように、事務局には調整をいただきたい。

中間副委員長：この、高齢者スポーツ大会についてだが、シニアクラブ連合会が、秋の大会については委託事業ということで実施しているが、会場が青少年広場なので、交通手段が課題となっている。

また、介護予防講師派遣事業についてだが、各単位クラブでも積極的に利用をしている。継続的にやっているクラブもあるが、暑い時期の8月や産業まつりがある11月などは、そもそも月例会などを行っていないこともあり、利用が少なくなると思う。

議題5 今後の予定について

事務局：今後の予定について、12月くらいに会議を行う予定だったが、今回の内容を受けて、また調整をさせていただく。開催の1カ月前には、委員の皆様には通知を行うようにする。

事務局：参考資料3から、神奈川県が実施している生活支援サービス担い手養成研修について説明。単年度で県がNPO法人に委託をしている事業のため、次年度以降も実施されるかはわからないが、町としては、今後の受け皿について案内が出来

| | |
|-------------------------------|---|
| | <p>るようになってから機会を見て活用していきたい旨を報告。</p> <p>三澤委員長：どんどん活用していただければと思う。メインの議題となっている訪問型サービスのA型に限らず、B型などの意識啓発になる可能性もある。</p> <p>中間副委員長：県老連で、担い手養成研修を受講したが、内容は解り易く有意義であった。</p> <p>三澤委員長：どのタイミングで実施するかについては、生活支援コーディネーターとよく協議して決めていただければと思う。</p> <p>(閉会)</p> <p>○副委員長挨拶 中間委員</p> |
| <p>配付資料</p> | <p>配布資料</p> <p>資料1 寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議について</p> <p>資料2 生活援助型の介護予防訪問型サービスについて</p> <p>資料3 生活援助型の介護予防訪問型サービスの類型</p> <p>資料4 県内他市町訪問型サービスについて</p> <p>資料5 一般介護予防事業参加記録</p> <p>参考資料1 寒川町生活支援コーディネーター配置事業報告書</p> <p>参考資料2 寒川町生活支援コーディネーター配置事業計画書</p> <p>参考資料3 神奈川県生活支援サービス担い手養成研修資料</p> |
| <p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p> | <p>中澤 博美、椎野 重子（平成30年8月13日確定）</p> |